

令和6年度 学力・学習状況調査結果

岬町教育委員会

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、支援学校小学部第6学年【岬町：実施校数・児童数 3校 77人】  
 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、支援学校中学部第3学年【岬町：実施校数・生徒数 1校 59人】

(3) 実施日 令和6年4月18日(木)

(4) 調査内容

- ① 教科に関する調査
  - ・小学校等【国語・算数】
  - ・中学校等【国語・数学】
- ② 質問紙調査  
 (児童生徒に対する調査、学校に対する調査)

【今年度の調査特徴】

- ※ 中学校の英語については4年に一度の実施のため実施せず
- ※ 理科は3年に一度程度の実施のため実施せず
- ※ 今年度より質問紙調査はオンラインにより行っている

各教科の状況

小学校国語	学習指導要領の内容		岬町の平均正答率 (%)
	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	60.4
		情報の扱い方に関する事項	87.0
		我が国の言語文化に関する事項	74.0
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	58.0	
	書くこと	69.5	
	読むこと	77.1	

【小学校国語】

「読むこと」において、物語の登場人物の言動や背景から人物像や物語の全体像を想像し、条件に合わせてまとめたり、決められた文字数で書いたりする記述式の問題は、概ねできている。また、「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができている。

一方、「話すこと・聞くこと」について、資料を効果的に活用し、自分の考えを工夫して伝えることや「言葉の特徴や使い方」において、学習した漢字を正しく使うことなどに課題がある。

小学校算数	学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均正答率 (%)
	領域	数と計算	58.4
		図形	60.7
		変化と関係	46.3
		データの活用	57.5
	評価の観点	知識・技能	67.8
思考・判断・表現		44.5	

【小学校算数】

「データの活用」領域において、円グラフの特徴を理解し割合を読み取ること(正答率 85.7%)や「数と計算」領域の数量の関係を、□を用いた式に表すこと(正答率 87.0%)、「図形」領域において、図形の見取り図についての理解(87.0%)は、概ねできている。

一方、「変化と関係」領域において、速さの意味について理解することや「数と計算」領域において、除数が小数である場合の計算等に課題がある。また、領域に関わらず、求め方や答え、判断した理由などを根拠を明確にし、数や言葉を用いて記述することにも課題がある。

中学校国語	学習指導要領の内容		岬町の平均正答率 (%)
	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	53.4
		情報の扱い方に関する事項	53.4
		我が国の言語文化に関する事項	72.4
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	50.6
		書くこと	68.1
読むこと		44.4	

【中学校国語】

「我が国の言語文化に関する事項」において、行書の特徴を理解すること(正答率 72.4%)や「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、文脈に即して漢字を正しく書くこと(正答率 74.1%)は、概ねできている。また、「書くこと」について、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること(81.0%)も概ねできている。

一方、「読むこと」について、文の成分の順序や照応についての理解や「話すこと・聞くこと」の領域、資料を用いて、自分の考えを分かりやすく伝えるようにすることに課題がある。

中学校数学	学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均正答率 (%)
	領域	数と計算	49.2
		図形	37.9
		関数	64.8
		データの活用	57.6
	評価の観点	知識・技能	63.6
思考・判断・表現		29.8	

【中学校数学】

「データの活用」領域において、最頻値の意味や求め方を理解すること(正答率 84.7%)や簡単な場合について、確率を求めること(71.2%)、また、「関数」領域のグラフから事象に即して解釈することは相当数の生徒ができている(正答率90%以上)。

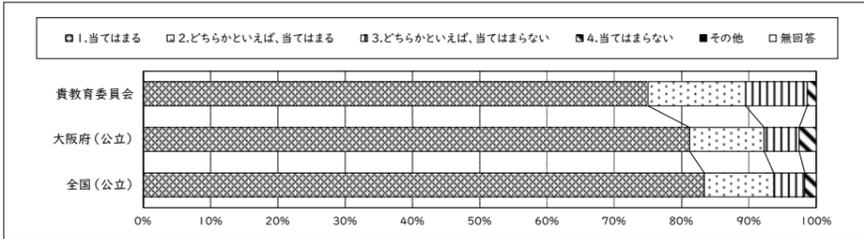
一方、「図形」の領域において、三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、新たな性質を見出したりすることに課題がある。また、「数と計算」領域において、文字を用いた式の計算や目的に応じて式を変形することにも課題がある。

# 児童生徒質問紙 調査結果

○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

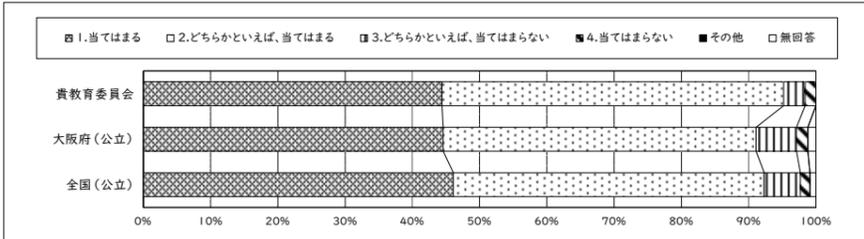
## 小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	75.0	14.5	9.2	1.3							0.0	0.0
大阪府(公立)	81.2	11.1	5.2	2.5							0.0	0.0
全国(公立)	83.4	10.3	4.6	1.7							0.0	0.0



## 中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	44.4	50.8	3.2	1.6							0.0	0.0
大阪府(公立)	44.6	46.5	6.0	1.7							0.0	1.2
全国(公立)	46.1	46.2	5.4	1.4							0.0	0.9

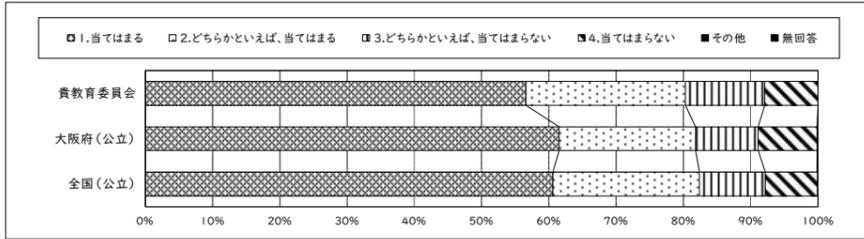


○肯定的回答率(小 94.7%,中 95.2%)が高い。今後も、グループ学習等に取り組み、児童生徒が互いの意見を尊重しながら協力できる環境を作ることが必要である。

○将来の夢や目標を持っていますか

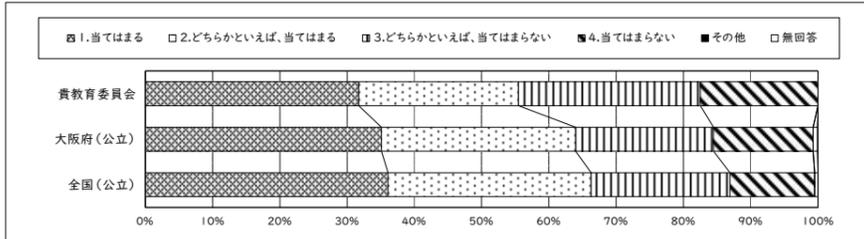
## 小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	56.6	23.7	11.8	7.9							0.0	0.0
大阪府(公立)	61.5	20.3	9.3	8.8							0.0	0.1
全国(公立)	60.6	21.8	9.8	7.7							0.0	0.0



## 中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	31.7	23.8	27.0	17.5							0.0	0.0
大阪府(公立)	35.1	28.9	20.5	14.8							0.0	0.6
全国(公立)	36.1	30.2	20.6	12.6							0.0	0.5

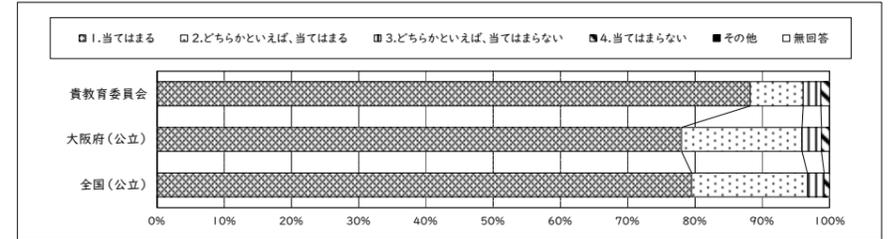


●昨年度に引き続き、肯定的回答の割合(小 80.3%,中 55.5%)が全国・大阪府と比較すると低い。自己理解を深める教育やキャリア教育の充実・推進が必要である。

○いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか。

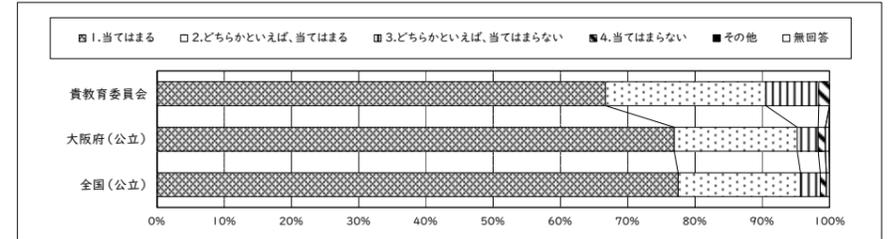
## 小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	88.2	7.9	2.6	1.3							0.0	0.0
大阪府(公立)	78.0	17.9	2.9	1.2							0.0	0.1
全国(公立)	79.5	17.2	2.5	0.8							0.0	0.0



## 中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	66.7	23.8	7.9	1.6							0.0	0.0
大阪府(公立)	76.9	18.3	3.1	1.1							0.0	0.5
全国(公立)	77.5	18.2	2.9	0.9							0.0	0.5

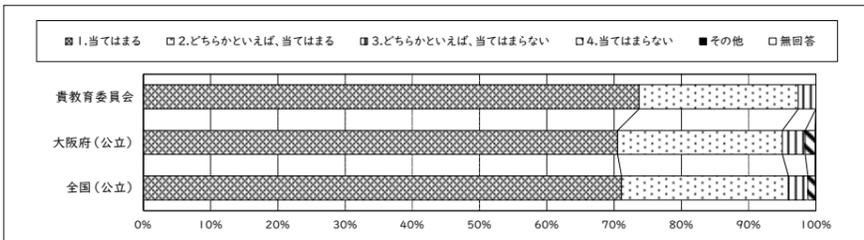


●小学校、中学校ともに、「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」と回答している児童生徒もあるため、さらに人権教育及び仲間づくり、いじめをなくす取り組みの推進が必要である。

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

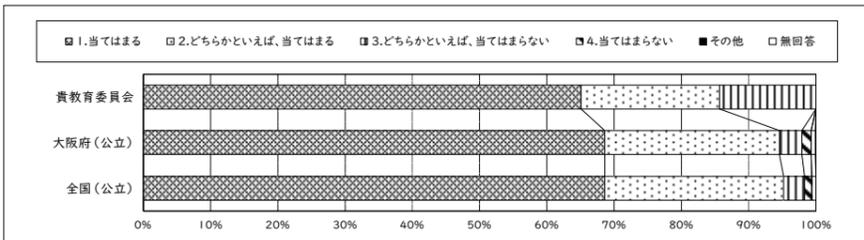
## 小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	73.7	23.7	2.6	0.0							0.0	0.0
大阪府(公立)	70.5	24.5	3.4	1.5							0.0	0.1
全国(公立)	71.1	24.8	2.9	1.1							0.0	0.0



## 中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	65.1	20.6	14.3	0.0							0.0	0.0
大阪府(公立)	68.6	26.0	3.3	1.4							0.0	0.6
全国(公立)	68.6	26.6	3.1	1.1							0.0	0.6

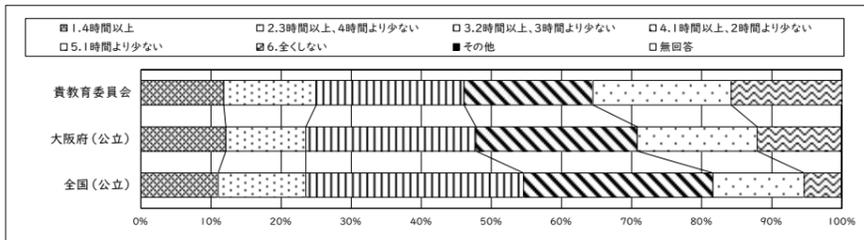


○肯定的回答の割合(小 97.4%,中 85.7%)が高い。今後も、道徳教育や地域学習、ボランティア活動などを継続していくことが必要である。

○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

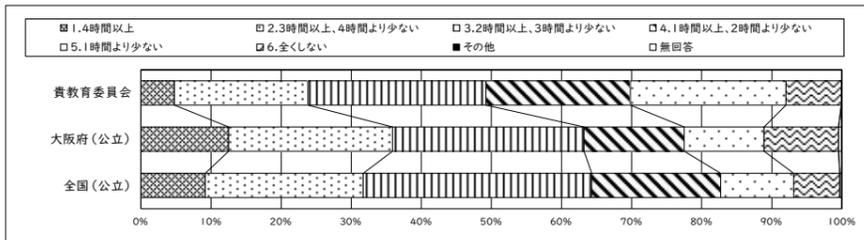
## 小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	11.8	13.2	21.1	18.4	19.7	15.8					0.0	0.0
大阪府(公立)	12.1	11.4	24.3	23.0	17.1	12.0					0.0	0.1
全国(公立)	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3					0.0	0.1



## 中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	4.8	19.0	25.4	20.6	22.2	7.9					0.0	0.0
大阪府(公立)	12.5	23.4	27.3	14.3	11.4	10.6					0.0	0.5
全国(公立)	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6					0.0	0.4

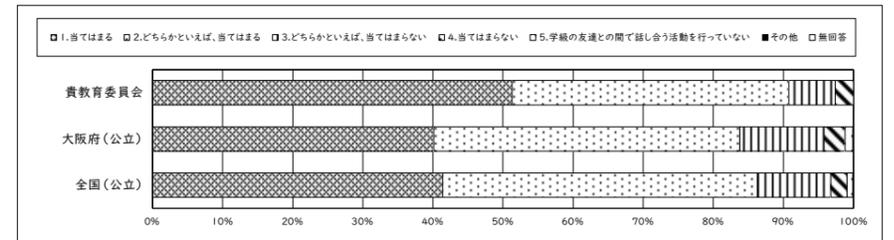


●小学校、中学校ともに府や全国平均に比べ、長時間、ゲームなどを行っていることが課題である。健康的な生活習慣と学習のバランスをとることが大切であるため、家庭との連携が必要である。

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

## 小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	51.3	39.5	6.6	2.6	0.0						0.0	0.0
大阪府(公立)	40.1	43.7	12.0	3.0	1.1						0.0	0.2
全国(公立)	41.4	44.9	10.5	2.3	0.8						0.0	0.1



## 中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	31.7	46.0	19.0	0.0	1.6						0.0	1.6
大阪府(公立)	34.1	49.5	11.1	3.0	1.6						0.0	0.8
全国(公立)	36.4	49.7	9.8	2.4	1.1						0.0	0.6

